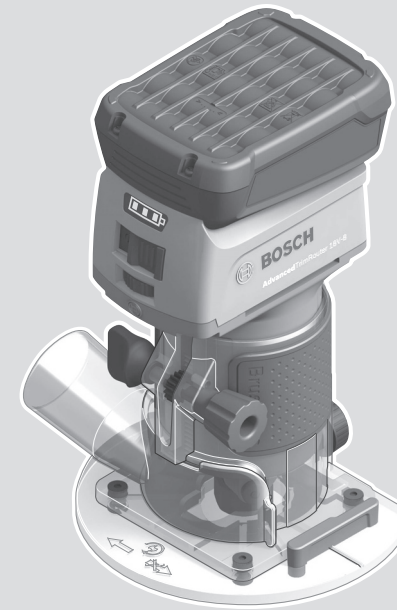




ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前 9:00～午後 5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 619 M01 1ZP

1 619 M01 1ZP (2023.01)

AdvancedTrimRouter 18V-8



BOSCH

取扱説明書

このたびは、弊社コードレストリマーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。

- ご使用になる前は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

目次

● 安全規則.....	2
警告表示の区分	2
一般安全規則.....	2
記号について	7
● 安全上のご注意.....	8
コードレス電動工具全般についての注意事項	8
ルーターについての注意事項.....	13
● 本製品について.....	15
用 途.....	15
各部の名称.....	15
標準付属品.....	17
仕 様.....	18
● 使い方	19
バッテリーを準備する	19
作業前の準備をする.....	22
切削する	33
吸じんシステム (別売品) と接続する.....	43
● バッテリーを長持ちさせるために.....	45
● リサイクルのために	45
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	45
● お手入れと保管.....	46
クリーニング.....	46
保 管.....	46
電動工具 (本体) の廃棄について	46
● 困ったときは.....	47
故障かな?と思ったら.....	47
修理を依頼するときは.....	48

安
全

本
製
品
に
関
する

使
い
方

バ
ッ
テ
リ
ー
に
関
する

お
手
入
れ
と
保
管

困
った
とき
は

安全規則

安全

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



危険

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



警告

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

一般安全規則



警告

取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。

下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、火災、重傷を招く恐れがあります。

下記に記載したすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式（コード付き）電動工具または、電池式（コードレス）電動工具を示します。

次の事項を順守してください。

a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。
- 2) 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させる恐れがある火花を発生する場合があります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

b) 電氣的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。
 - 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。
身体が接触すると、感電する危険が増大します。
- 屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。
- 3) 電動工具、バッテリーは、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。水が入ると、感電する危険が増大します。
◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。
 - 4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のとがった場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。
◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理を依頼してください。お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
 - 5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。
◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
 - ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。
 - ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります。
- 3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。
 - ◆ 回転している先端工具が思いがけず身体に当たると、衣服に引っかかり、身体が引き込まれる恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておくと、人的傷害の原因になります。
- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関する危険を低減することができます。
 - ◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。

d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
 - ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
 - ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。
- 3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具本体からバッテリーを取り外してください。このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱いなれていない人に渡すと、危険です。
 - ◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
 - ◆ 鍵のかかる所に保管してください。
- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各部品の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。
- 6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。
電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。
 - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
- 8) 電動工具は、25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

安

全

e) コードレス電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具にバッテリーを挿入する前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。
- 2) 弊社が指定した充電器だけで再充電してください。バッテリーに適さない充電器を用いると、火災の危険があります。
- 3) 電動工具は、指定された専用のバッテリーのみを使用してください。指定外のバッテリーを使用すると、人的被害および火災をもたらす恐れがあります。
 - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
- 4) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなど、バッテリー端子を短絡させる恐れのある金属物から離してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災をもたらす恐れがあります。
- 5) 過酷な条件のもとでは、バッテリーから液漏れが発生する場合があります。直接触れないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合は、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れた液体は、炎症ややけどをもたらす恐れがあります。

f) 整備

電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。

- ◆ サーマン以外の人には電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 電動工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。
- ◆ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受け付けできません。

g) その他

- 1) この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で使用しないでください。
 - ◆ この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
- 2) 製品本体および本取扱説明書に使用されている記号の意味については、「記号について」を参照してください。

記号について

本機には下記の記号が表示されています。
記号の意味を十分理解して本機を使用してください。

安
全

	直流
	ユーラシア経済連合の基準適合表示
	ウクライナの基準適合表示
	欧州の基準適合表示
	欧州で使用するWEEE指令の適合表示
	英国の基準適合表示
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
	リサイクル識別表示マーク (リチウムイオンバッテリー)
	リサイクル識別表示マーク (紙製容器包装)
	リサイクル識別表示マーク (プラスチック製容器包装)

安全上のご注意

安全

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コードレス電動工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。



危険

- ボッシュ専用の充電式バッテリー以外を使用しないでください。
 - ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
 - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
電動工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
- バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。
 - ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
- バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。
 - ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- コードレス電動工具本体やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管・放置しないでください。
 - ◆ 発熱・発火・破裂・バッテリーの液漏れの恐れがあります。

● 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。
バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

● バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

- ◆ 短絡の恐れがあります。

● バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。

また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。

- ◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。



警 告

● 正しく充電してください。

- ◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。
- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。

● 感電に注意してください。

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

● 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス電動工具を使用できます。

● 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

- ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 充電式でないバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。
- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
 - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
- 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。
 - ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具本体の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。
- 作業中にコードレス電動工具本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、コードレス電動工具本体や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
 - ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
 - ーできる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
 - ー作業場所の換気に注意してください。
 - ーDS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。
 - 作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。
- フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、コードレス電動工具本体が冷めるための時間を設けてください。
 - ◆ 複数個による連続作業は、コードレス電動工具本体に支障をきたすばかりでなく、コードレス電動工具本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。
- 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者 の 診断を受けてください。
 - ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
 - ◆ 容易に発火する恐れがあります。
- 定期的にコードレス電動工具の通気口を清掃してください。
 - ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
 - ◆ 握り部が滑りやすいと、コードレス電動工具本体を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。
 - ◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。

●安全上のご注意は、必ず守ってください。

- ◆ コードレス電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。コードレス電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

●搬送について

内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。

第三者が運搬する場合（例えば空輸あるいは代理店経由）、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家に相談してください。



注 意

●先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

- ◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。

●高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。

- ◆ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

●電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。

●破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。
ここでは、ルーターをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。



警 告

- 使用中は、回転部に手や頭を近付けないでください。

◆ 近づけると、けがの原因になります。



注 意

- 「メインスイッチ」を“入”にするときは、電動工具の回転部が身体に接触していないことを確認してください。

◆ 接触したままスイッチを入れると、けがの原因になります。

- 電動工具を作動させたまま、床やテーブルなどに放置しないでください。

◆ 電動工具が作動していると、けがの原因になります。

- ビットの破損、加工面の焼きつき、モーターの過負荷を防ぐために、不要な力は加えないでください。

- 各部の固定ネジは確実に締めつけてください。

◆ 緩んでいると、事故の原因になります。

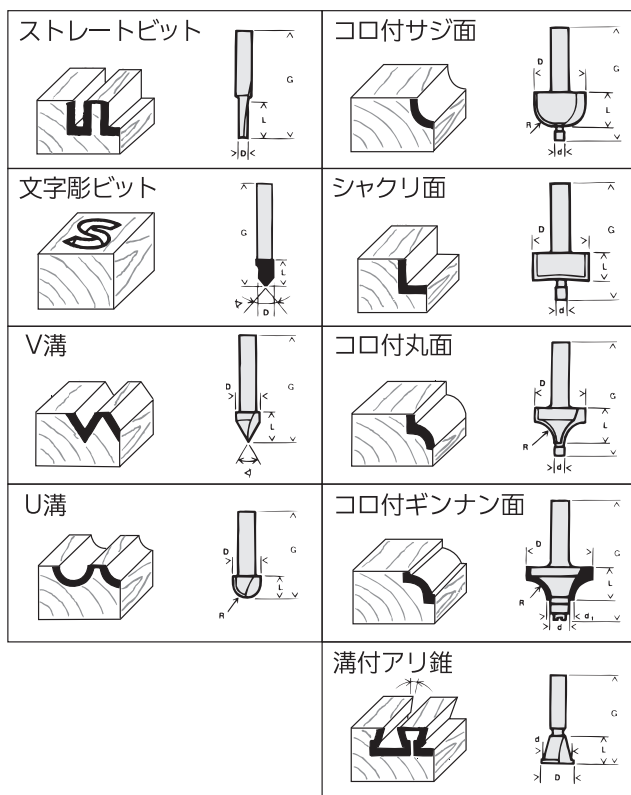
- 作業後のビットは高温になっていますので、直接手で触れないでください。

◆ 触れると、やけどの原因になります。

- ルータービットは、電動工具本体の最高回転数以上の回転数に対応しているものを選んでください。最高回転数以上でないと、折れて飛散する恐れがあります。

● 工程や用途に合わせてルータービット(ボッシュ純正品/市販品)を選択してください。

- ◆ ビットの形状によって切断面が異なります。
コレット径 (6mmφ/8mmφ) に合ったシャンク径のルータービットを選択してください。
- ◆ ハイスピード鋼 (HSS) 製ルータービットは、軟らかい木材やプラスチックなどの軟らかい材料に適しています。
- ◆ 超硬チップ付きルータービット (HM) は、硬い木材やアルミニウムなどの硬い材料に適しています。
- ◆ ボッシュ純正のルータービットは、ボッシュ電動工具販売店などで購入できます。



本製品について

用 途

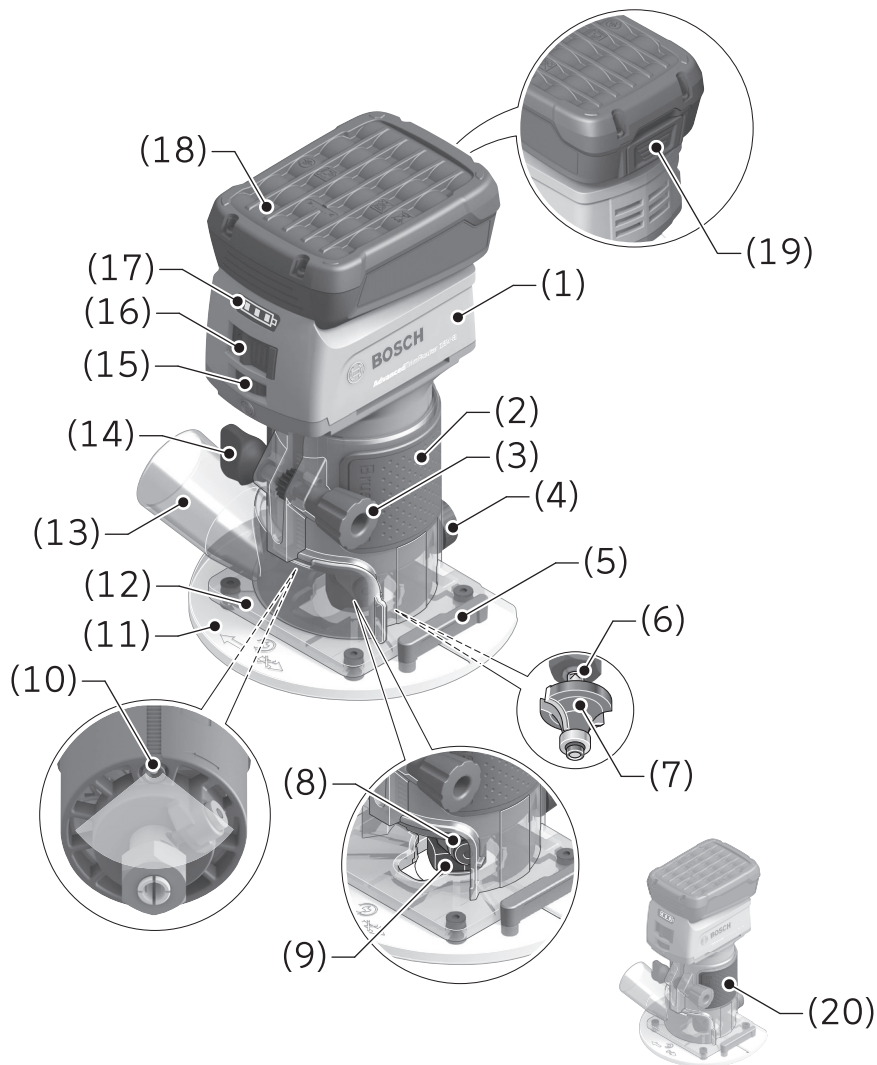
- ◆ 木材、プラスチック、軽量建築材等の彫刻
- ◆ 木材、プラスチック、軽量建築材等の面取り
- ◆ 木材、プラスチック、軽量建築材等の溝切り

※ 本製品は、ご家庭での使用を想定した「DIY用」製品です。

つ本
製
品
に

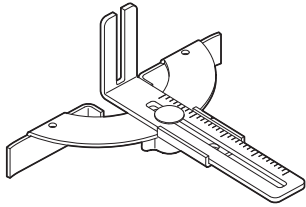
各部の名称

- (1)モーターユニット
- (2)ベースカバー
- (3)切削深さ調節ネジ
- (4)ガイド固定ネジ
- (5)調節補助具
- (6)アマーク
- (7)ルータービット
- (8)スピンドルロックボタン
- (9)コレットナット
- (10)LEDライト
- (11)ガイドプレート
- (12)ベースプレート
- (13)吸じんシステム接続アダプター
- (14)ベースカバー固定ネジ
- (15)変速ダイヤル
- (16)メインスイッチ
- (17)バッテリー残量表示ランプ
- (18)バッテリー
- (19)バッテリー取り外しボタン
- (20)ハンドル



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

標準付属品

モデル名	AdvancedTrimRouter 18V-8
型 番	ADTR 118 H
 ストレートガイド	1個
 コレットナット (6mm/8mm)	1個
 スパナ (13mm/22mm)	1本

つ本
製
品
に

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

電動工具本体

本製品について

モデル名	AdvancedTrimRouter 18V-8
型 番	ADTR 118 H
メーカー製造番号	3 603 JD5 0..
定格電圧	D.C.18V
無負荷回転数	10,000～30,000min ⁻¹ (回転/分)
変速の事前選択	●
集じんシステム接続	●
コレット径	6mm/8mm
質 量*1*2	1.4～1.7kg
推奨充電周囲温度範囲	0℃～+35℃
使用可能周囲温度範囲*3	-20℃～+50℃
保管可能周囲温度範囲	-20℃～+50℃
原産国	中国

*1 使用するバッテリーの容量により異なります。

*2 EPTAプロシーチャー01/2014に準拠

*3 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

使用可能ボッシュ充電器

品 番	AL 18... *4
-----	-------------

使用可能ボッシュDIY・ガーデンツール用リチウムイオンバッテリー

品 番	A 18.. LIG*4 PBA. 18 PBA 18V....
-----	--

*4 ボッシュDIY・ガーデンツール用に限る

☞ 本製品には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。
使用可能なバッテリー・充電器の品番は、ボッシュ電動工具ホームページ「ホーム&ガーデン」を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。
(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

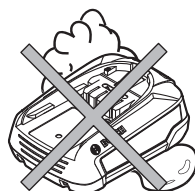
使い方

バッテリーを準備する

- ☞ 本製品には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。
使用可能なバッテリー・充電器の品番は、ボッシュ電動工具ホームページ「ホーム&ガーデン」を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。
(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)
ボッシュ電動工具ホームページ: <https://www.bosch.co.jp/pt/>

● バッテリー (別売品) を点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？



使
い
方

● バッテリー (別売品) を充電する

充電については、充電器に付属されている取扱説明書をお読みにになり、正しく充電してください。

● バッテリー残量表示



バッテリー(18)の残量(目安)は、電動工具本体のバッテリー残量表示ランプ(17)で確認することができます。

バッテリー残量表示ランプ(17)は、「メインスイッチ(16)」を“入”にすると点灯します。

バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色3つ点灯	75～100%
緑色2つ点灯	40～75%
緑色1つ点灯	15～40%
緑色1つ点滅	0～15%

- ☞ 「メインスイッチ(16)」を“入”にしても、バッテリー残量表示ランプ(17)が1つも点灯・点滅しないときは、バッテリー(18)が破損しています。
バッテリー(18)を交換してください。
- ☞ バッテリー残量表示ランプ(17)が緑色3つで早く点滅しているときは、過負荷保護機能が作動しています。
- ☞ バッテリー残量表示ランプ(17)の中央のランプが点滅しているときは、バッテリー(18)の温度が許容作動範囲(−20℃～+50℃)を超えているか、電動工具本体の温度保護機能が作動しています。

● バッテリー (別売品) を取り付ける・取り外す



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー(18)を取り付けたり取り外したりするときは、「メインスイッチ(16)」が“切”になっていることを確認してください。



注意

- ◆ バッテリー(18)を取り付けたり取り外したりするときは、必要以上の力を加えないでください。

取り付け

バッテリー(18)を、電動工具本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまで押し込みます。



注意

- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

取り外し



注意

- ◆ バッテリー(18)を引き抜く際、けがをしないよう注意してください。

「バッテリー取り外しボタン(19)」を押しながら、バッテリー(18)を電動工具本体から引き抜きます。

使
い
方

● ルータービットを取り付ける・取り外す



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、ルータービット(7)を取り付けたり取り外したりするときは、必ず電動工具体からバッテリーを(18)を取り外してください。

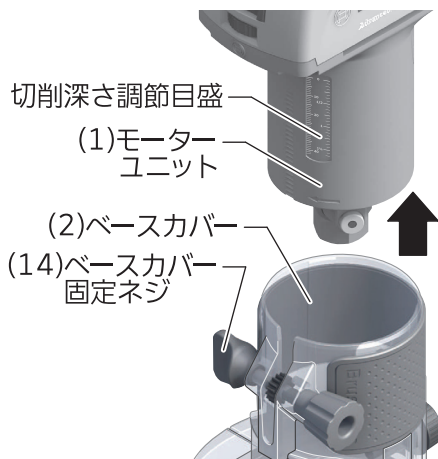


注意

- ◆ ルータービット(7)の取り付け・取り外し作業をするときは、けがの発生を防ぐため、手袋を着用してください。
- ◆ 作業直後はルータービット(7)が高温になっています。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
- ◆ 径の大きいルータービット(7)を径の小さいコレットナット(9)に無理に挿入しないでください。ルータービット(7)の軸径がコレットナット(9)のサイズと合っていない場合は、コレットナット(9)を交換してください。
(26ページ「コレットを交換する」参照)

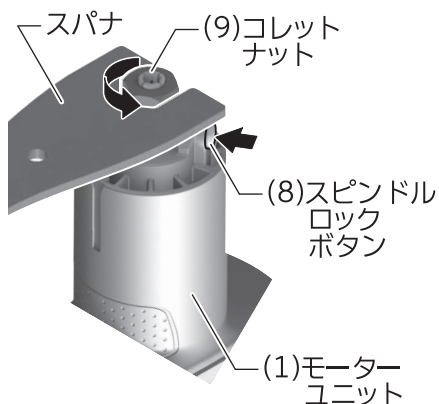
取り付け

1. ベースカバー固定ネジ(14)を回して緩めます。
2. モーターユニット(1)をベースカバー(2)から取り外します。



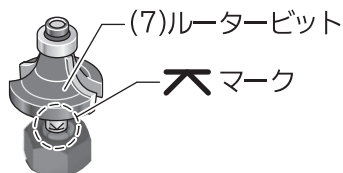
3. 「スピンドルロックボタン(8)」を押しながら、手でコレットナット(9)を回し、スピンドルを固定します。
 - ☞ スピンドルには、「スピンドルロックボタン(8)」がかみ合う位置があります。「スピンドルロックボタン(8)」を押しながらコレットナット(9)を回し、スピンドルが確実に固定する位置を探してください。スピンドルが固定する位置では、「スピンドルロックボタン(8)」が一段深く押し込まれます。
 - ☞ スピンドルが固定されていないとコレットナット(9)を緩めることができません。

4. スピンドルを固定させた状態を保持しながら、付属品のスパナ (13mm 側) でコレットナット (9) を矢印の方向に回して緩めます。



5. ルータービット (7) をコレットナット (9) に挿入します。

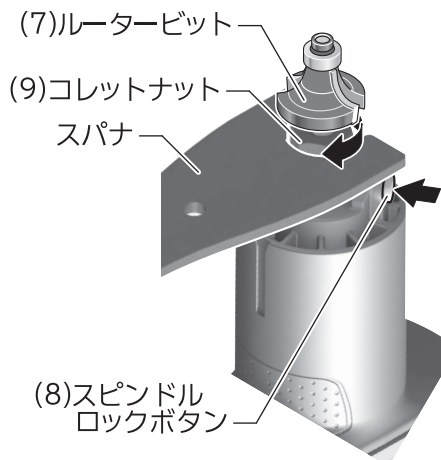
- ☞ ルータービット (7) は、必ず **△** マークまで差し込んでください。
△ マークのないルータービット (7) を取り付けるときは、ルータービット (7) の軸長の 2/3 までコレットナット (9) に挿入してください。
- ☞ 損傷していないルータービット (7) のみを取り付けてください。



使
い
方

6. 「スピンドルロックボタン (8)」を押しながら、付属品のスパナ (13mm 側) でコレットナット (9) を締めます。

- ☞ スピンドルがロックされていないと、コレットナット (9) を締め付けることはできません。
- ☞ 必要以上にコレットナット (9) をきつく締めないように注意してください。

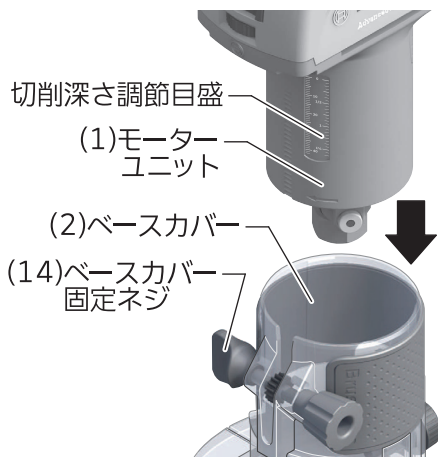


7. 「スピンドルロックボタン (8)」を離します。

8. ルータービット(7)を引いて、確実に取り付けられているか確認します。
抜けたり、緩んだりしていなければ取り付け完了です。

9. ベースカバー固定ネジ(14)を緩めた状態で、モーターユニット(1)をベースカバー(2)に差し込みます。

☞ モーターユニット(1)は、モーターユニット(1)のラックと切削深さ調節ネジ(3)のピニオンギヤがかみ合うように差し込んでください。

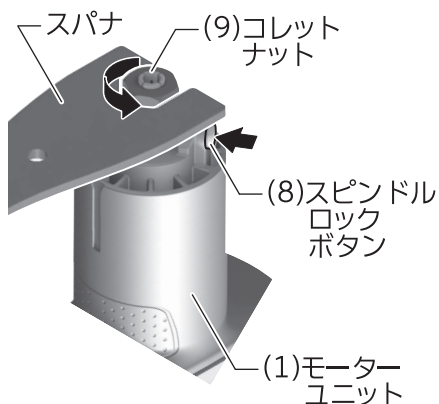


10. ベースカバー固定ネジ(14)を締めます。
11. モーターユニット(1)がしっかりベースカバー(2)に固定されているか確認します。

取り外し

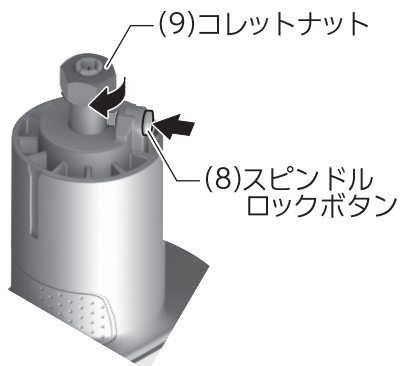
1. ベースカバー固定ネジ(14)を回して緩めます。
2. モーターユニット(1)をベースカバー(2)から取り外します。
3. 「スピンドルロックボタン(8)」を押しながら、手でコレットナット(9)を回し、スピンドルを固定します。
- ☞ スピンドルには、「スピンドルロックボタン(8)」がかみ合う位置があります。「スピンドルロックボタン(8)」を押しながらコレットナット(9)を回し、スピンドルが確実に固定する位置を探してください。スピンドルが固定する位置では、「スピンドルロックボタン(8)」が一段深く押し込まれます。
- ☞ スピンドルが固定されていないとコレットナット(9)を緩めることができません。

4. スピンドルを固定させた状態を保持しながら、付属品のスパナ (13mm 側) でコレットナット(9)を矢印の方向に回して緩めます。



5. ルータービット(7)をコレットナット(9)から引き抜きます。

6. コレットナット(9)を手で矢印の方向 (締める) に回して仮締めします。ルータービット(7)が挿入されていない状態でコレットナット(9)を締め付けすぎないでください。コレットが損傷する恐れがあります。



使
い
方

7. 「スピンドルロックボタン(8)」を離します。
8. モーターユニット(1)とベースカバー(2)を組み付けます。
(前ページ「取り付けの手順9～11項参照」)

● コレットを交換する

使用するルータービット(7)の軸径にコレットのサイズ(6mm/8mm)が合っていない場合やコレットナット(9)が損傷している場合は、コレットナット(9)を交換してください。

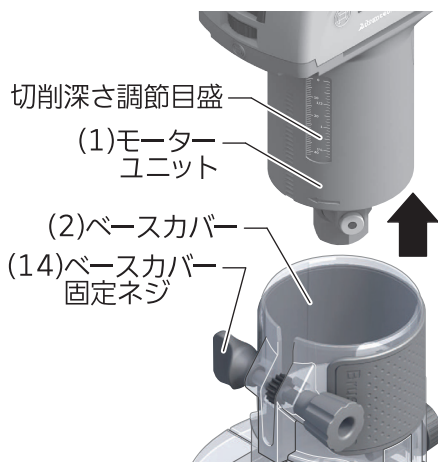


- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、コレットを交換するときは、必ず電動工具本体からバッテリー(18)を取り外してください。



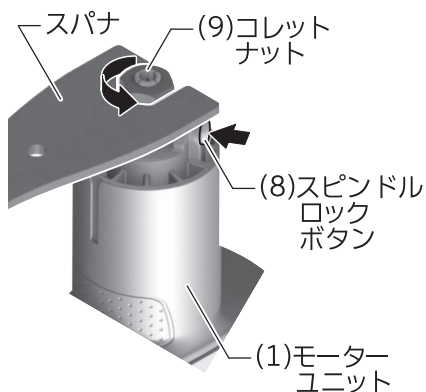
- ◆ コレットナット(9)が損傷している場合は、すぐに交換してください。
- ◆ 作業直後のルータービット(7)やコレットナット(9)は高温になります。冷めてから取り外してください。
- ◆ コレットナット(9)を交換するときは、けがの発生を防ぐため手袋を着用してください。

1. ベースカバー固定ネジ(14)を回して緩めます。
2. モーターユニット(1)をベースカバー(2)から取り外します。



3. 「スピンドルロックボタン(8)」を押しながら、手でコレットナット(9)を回し、スピンドルを固定します。
 - ☞ スピンドルには、「スピンドルロックボタン(8)」がかみ合う位置があります。「スピンドルロックボタン(8)」を押しながらコレットナット(9)を回し、スピンドルが確実に固定する位置を探してください。スピンドルが固定する位置では、「スピンドルロックボタン(8)」が一段深く押し込まれます。
 - ☞ スピンドルが固定されていないとコレットナット(9)を緩めることができません。

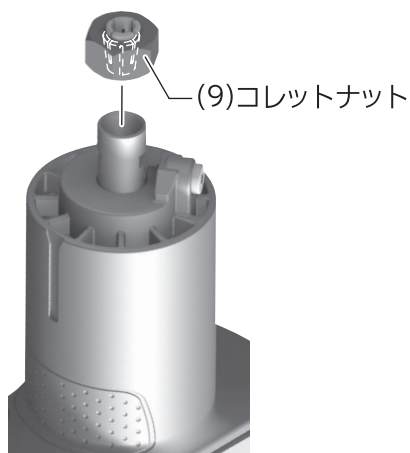
4. スピンドルを固定させた状態を保持しながら、付属品のスパナ (13mm 側) でコレットナット (9) を矢印の方向に回して緩めます。



5. 「スピンドルロックボタン (8)」を離します。

6. ルータービット (7) が取り付けられているときは、ルータービット (7) を取り外します。

7. コレットナット (9) を取り外します。

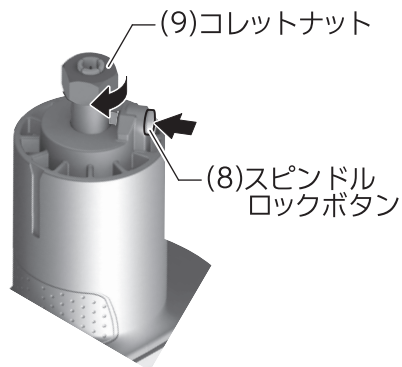


8. 必要に応じて、スピンドルやコレットナット (9) に付着したゴミを、柔らかいブラシを使用するか、圧縮空気を吹き付けて掃除します。

9. 使用するルータービット (7) の軸径に合ったコレットナット (9) をスピンドルに取り付けます。

 径の大きいルータービット (7) を径の小さいコレットナット (9) に無理に挿入しないでください。

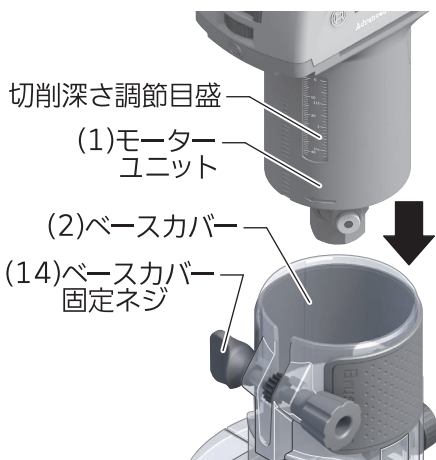
10. コレットナット(9)を手で矢印の方向(締める)に回して仮締めします。
ルータービット(7)が挿入されていない状態でコレットナット(9)を締め付けすぎないでください。コレットが損傷する恐れがあります。



11. 必要に応じて、ルータービット(7)を取り付けます。
(22ページ「ルータービットを取り付ける・取り外す」の取り付け手順5～8項参照)

12. ベースカバー固定ネジ(14)を緩めた状態で、モーターユニット(1)をベースカバー(2)に差し込みます。

 モーターユニット(1)は、モーターユニット(1)のラックと切削深さ調節ネジ(3)のピニオンギヤがかみ合うように差し込んでください。



13. ベースカバー固定ネジ(14)を締めます。
14. モーターユニット(1)がしっかりベースカバー(2)に固定されているか確認します。

● 切削深さを設定する



警告

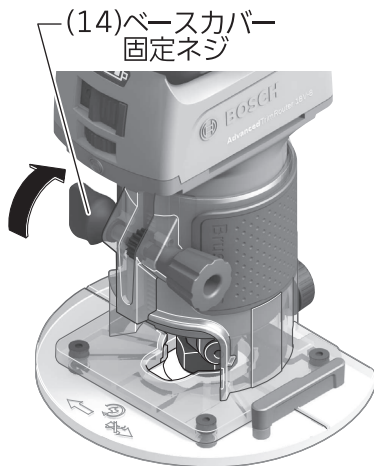
- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、切削深さを設定するときは、必ず電動工具本体からバッテリー(18)を取り外してください。

1. 電動工具本体を作業する材料の上に置きます。

2. ベースカバー固定ネジ(14)を矢印の方向に回し、モーターユニット(1)が上下に動かせるまで緩めます。

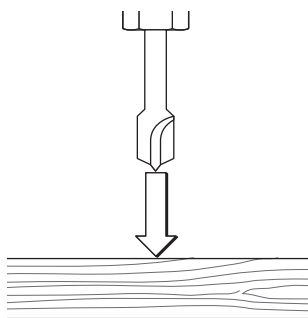
☞ ベースカバー固定ネジ(14)は緩め過ぎないでください。緩め過ぎるとベースカバー固定ネジ(14)とナットが外れてしまいます。

もしベースカバー固定ネジ(14)とナットが外れてしまった場合は、ナットを元の位置に挿入し、ベースカバー固定ネジ(14)を切削深さ調節ネジ(3)に差し込んで、少し締めてください。



使
い
方

3. 切削深さ調節ネジ(3)を回してモーターユニット(1)をゆっくり上下させ、ルータービット(7)の先端を材料に当てます。



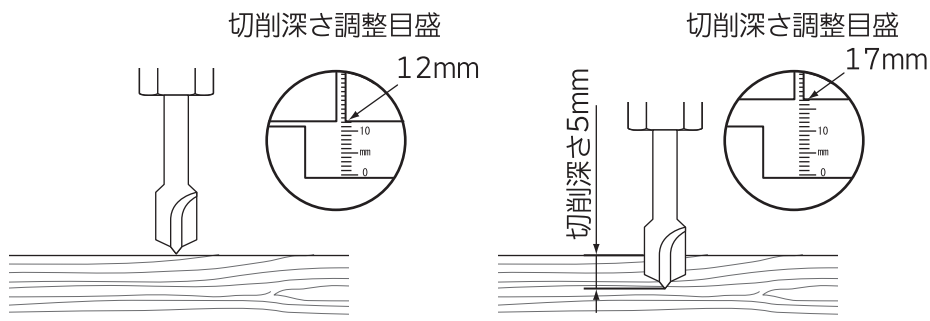
4. ベースカバー固定ネジ(14)を締めます。

5. 切削深さ調節目盛を読みます。



切削深さ
調節目盛

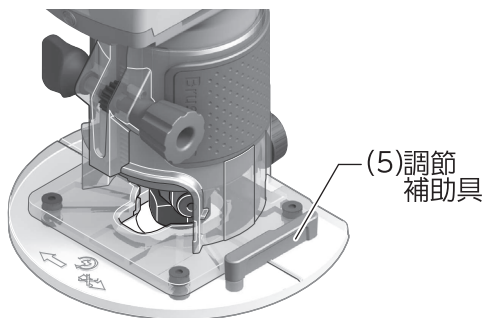
6. 電動工具本体を材料から外します。
7. モーターユニット(1)を手で押さえながら、ベースカバー固定ネジ(14)を緩めます。
8. 切削深さ調節ネジ(3)を回して、手順5で読んだ目盛に切削したい深さを足した目盛までモーターユニット(1)を下げます。



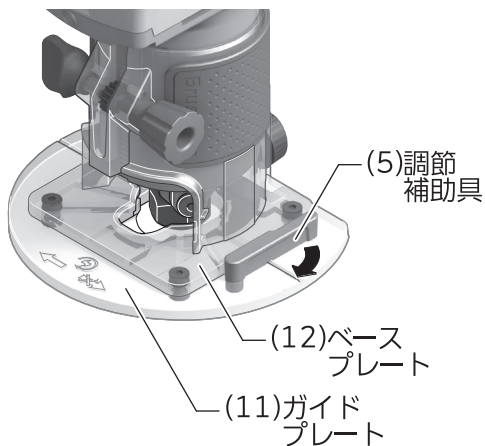
9. 合わせた位置を保持したままベースカバー固定ネジ(14)を締めます
10. 試し切削して、深さを確認します。

面取り用のルータービットを使用するときの設定

面取り用のルータービットをガイドプレート(11)と面一に設定するときには、調節補助具(5)を使用します。



1. 調節補助具(5)を矢印の方向に引いてベースプレート(12)から取り外し、ガイドプレート(11)から引き抜きます。

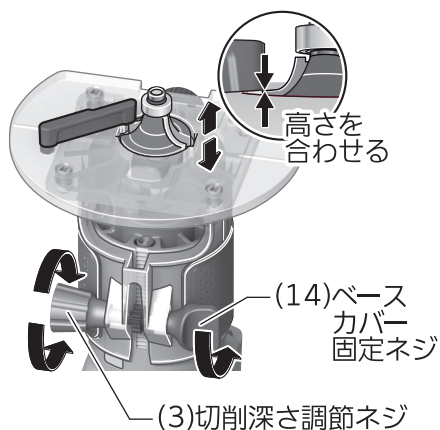


2. 調節補助具(5)をガイドプレート(11)の裏面から穴に差し込み、ビット側に寄せます。

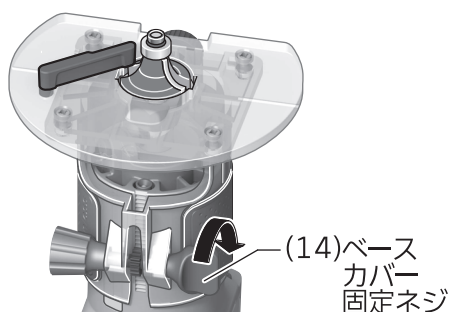


3. ベースカバー固定ネジ(14)を矢印の方向に回して緩めます。

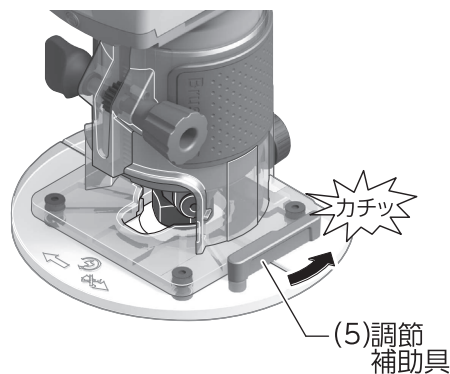
4. 切削深さ調節ネジ(3)を回して、ルータービットとガイドプレート(11)の高さが合うように調節します。



5. ベースカバー固定ネジ(14)を矢印の方向に回して締めます。



6. 調節補助具(5)を取り外し、ガイドプレート(11)の表面から穴に差し込み、ベースプレート(12)に取り付けます。
“カチッ”と音がして、確実に取り付けられたことを確認してください。





注意

- ◆ 切削作業は、必ずルータービット(7)の回転方向とは逆の方向に電動工具本体を移動させてください。(37ページ「作業のヒント」参照)
ルータービット(7)の回転方向と同じ方向に電動工具本体を移動させると、動きが乱れ、コントロールできなくなる可能性があります。
- ◆ 切削作業は、必ずガイドプレート(11)を取り付けて行ってください。ガイドプレート(11)を取り付けずに切削すると、動きが乱れ、事故の原因になります。
- ◆ ルータービット(7)で、材料やガイドプレート(11)を傷つけないように注意してください。
- ◆ クランプや万力などを利用して、材料をしっかり固定してください。
材料を手で持ったり、身体で押し付けたりすると、材料が不安定になり、電動工具本体をコントロールできなくなる恐れがあります。
- ◆ 材料に金属製の物体や釘、ネジなどの異物がないことを確認してください。ルータービット(7)が異物に当たると、刃先が欠けたり、反発によりけがの原因になります。
- ◆ 切れ味の鈍くなったルータービット(7)や損傷したルータービット(7)は使用しないでください。ルータービット(7)が材料で動かなくなり、コントロールできなくなる恐れがあります。

電子セル保護システム(ECP機能)

本機には、電子セル保護システム (ECP機能) がついております。

電動工具本体が過負荷になった場合やバッテリーが過放電または使用温度範囲外になった場合、バッテリー保護のために電動工具本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

電動工具本体が停止している状態で「メインスイッチ(16)」を“入”にし続けると、故障の原因になります。電動工具が突然停止したときは、作業を一時中断してください。

1 材料を確実に固定する

 材料の固定には、クランプや万力を使用してください。

2 コレットナット(9)を点検する

コレットナット(9)が確実に締め付けられているか点検してください。

3 ルータービット(7)を点検する

ルータービット(7)が欠けていたり、摩耗したりしていないか点検してください。

4 切削深さを確認する

切削深さが正しく設定されているか確認してください。

5 ベースカバー(2)を確実に固定する

ベースカバー固定ネジ(14)が確実に締まっているか確認してください。

6 電動工具本体にバッテリー(18)を取り付ける



警告

- ◆ 「メインスイッチ(16)」が“切”になっていることを確認してから、バッテリー(18)を取り付けてください。
- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー(18)以外は、取り付けないでください。指定外のバッテリー(18)を取り付けると、電動工具が誤作動したり、損傷したりする恐れがあります。

バッテリー(18)を電動工具本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまで押し込みます。



注意

- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

7 「変速ダイヤル(15)」で回転速度を設定する

表中の数値は目安です。最適な回転速度は、材料やアクセサリにより異なります。

「作業する」の手順で試し加工を行ってから、実際の作業を行ってください。

☞ 「変速ダイヤル(15)」は、作業中でも変更できます。

☞ 低速で長時間作業した後は、最高回転で無負荷運転させ、機体を冷ましてください。

変速ダイヤル	回転数 (min ⁻¹)
1～2 (低速)	10,000～14,000
3～4 (中速)	18,000～24,000
5～6 (高速)	26,000～30,000

速度表(参考)

ご使用のルータービット(7)に表示されている回転数にいちばん近い回転数を選んでください。

材 料	ルータービット径 (mm)	変速ダイヤル
広葉樹(ブナ)	4～10	5～6
	12～20	3～4
	>20	1～2
針葉樹(松)	4～10	5～6
	12～20	3～6
	>20	1～3
合 板	4～10	3～6
	12～20	2～4
	>20	1～3
プラスチック	4～15	2～3
	>15	1～2

8 切削を始める



- ◆ 必ず、「メインスイッチ(16)」を“入”にしてからルータービット(7)を材料に当ててください。“入”にしてから材料に当てないと、ルータービット(7)が材料にかみ込んで、キックバックを起こす恐れがあります。

スイッチの入/切

入: 「メインスイッチ(16)」を矢印の方向にスライドさせます。

“I”が見えるようになります。

(16) メイン
スイッチ



切: 「メインスイッチ(16)」を矢印の方向にスライドさせます。

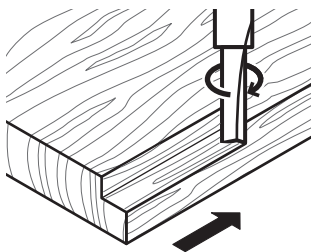
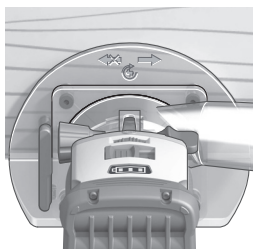
“0”が見えるようになります。

(16) メイン
スイッチ



「メインスイッチ(16)」を“入”にし、けがき線または材料に沿ってゆっくりと一定の速度で切削作業を行います。

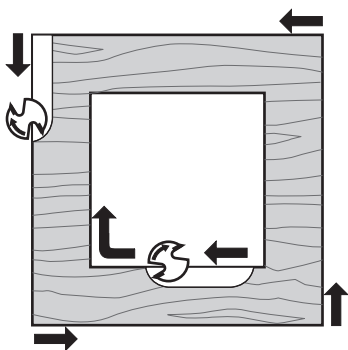
電動工具本体は、矢印の方向に動かしてください。



<作業のヒント>

電動工具本体は、奥から手前に移動するときは右側に、手前から奥に向かって移動するときは左側に寄る性質があります。

下図のように電動工具本体を動かすと本体と材料が離れにくく、より正確に作業が行えます。



9 切削を終える

切削作業が終了したら、「メインスイッチ(16)」を“切”にします。



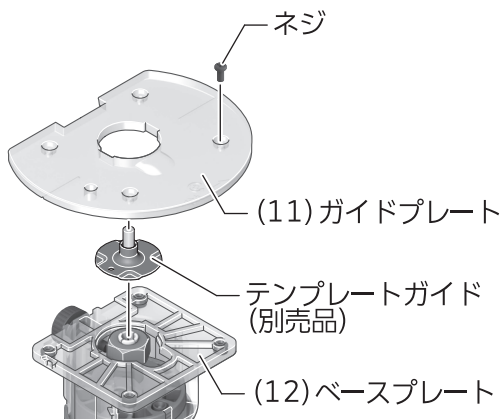
注意

- ◆ ルータービット(7)の回転が完全に止まるまで、電動工具本体を床やテーブルなどに置かないでください。けがの原因になります。

● テンプレートを使用して切削する

テンプレート (型板) を使用し、同じ加工を繰り返し行うときに有効です。(テンプレートの使用については、次ページ「作業のヒント」を参照してください)

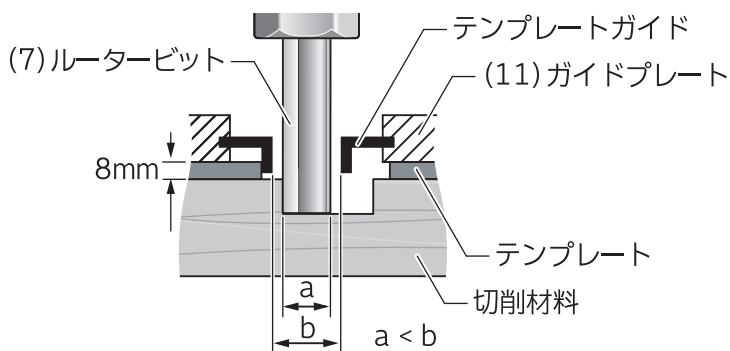
- ☞ テンプレート (型板) は、8mm以上の厚さのものを使用してください。
- ☞ ルータービット(7)は、テンプレートガイド (別売品) の穴より小さい径のものを選んでください。



1. ガイドプレート(11)からネジ4本を外し、ガイドプレート(11)を取り外します。
2. 取り外したガイドプレート(11)にテンプレートガイド (別売品) をはめ込みます。
3. ネジ4本でベースプレート(12)にガイドプレート(11)を取り付けます。
4. テンプレートガイドが確実に取り付けられているか確認します。
5. 材料の上にテンプレート (型板) を置き、その上に電動工具体をセットします。
6. 「切削する」の手順(34～37ページ参照)に従って切削作業を行います。
電動工具体は、テンプレートに沿って材料に軽く押し付けるようにしながら、一定の速度で動かしてください。

<作業のヒント>

テンプレートガイドを使用した場合、その構造上、実際にでき上がるものはテンプレート（型板）よりも少し小さくなります。



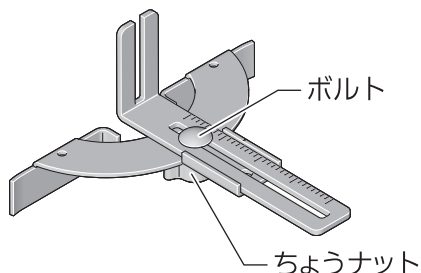
テンプレートガイドとルータービット(7)の間隔の分、テンプレート（型板）を大きく作成すると、お望みの大きさに仕上がります。

使
い
方

● ストレートガイドを使用して切削する

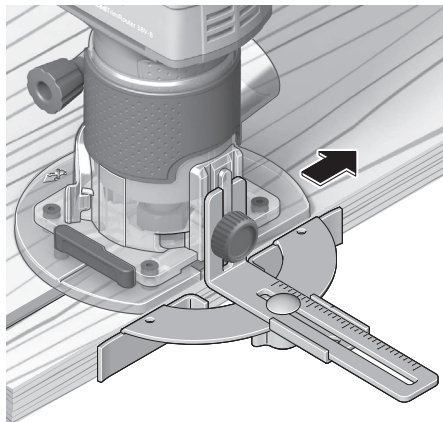
長尺物の面取り加工や直線加工などが正確に行えます。

1. 付属のストレートガイド用のボルト・ちょうナット・ワッシャーを使用して、ストレートガイドを組み付けます。



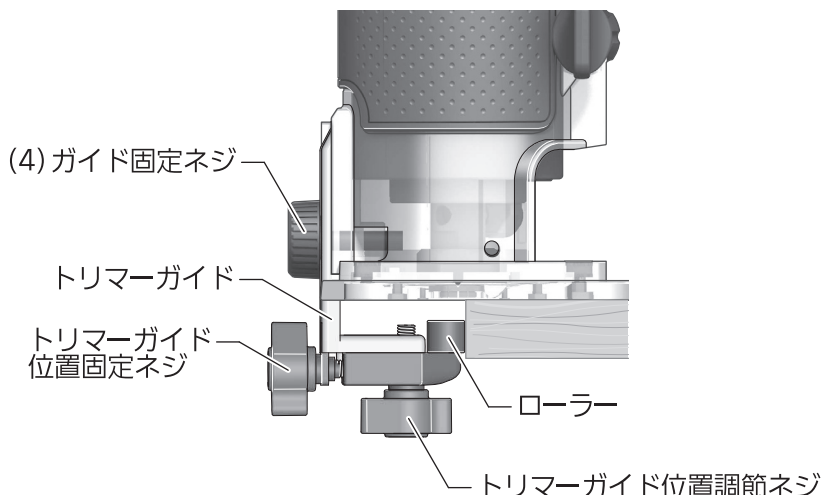
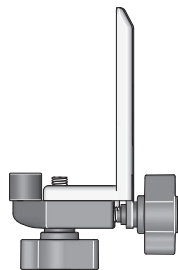
2. 電動工具本体にガイド固定ネジ(4)を取り付けます。
3. ストレートガイドをガイド固定ネジ(4)の下から差し込みます。
4. ストレートガイドの高さを調節し、ガイド固定ネジ(4)を締めます。
5. 切削材料の側面にストレートガイドを当てます。
6. 位置が調節できる程度にちょうナットを緩めます。
7. ルータービット(7)の位置が切削位置に合うようにストレートガイドを調節し、ちょうナットを締めます。
8. ストレートガイドが確実に固定されていることを確認します。

9. 「切削する」の手順(34～37ページ参照)に従って切削作業を行います。
電動工具本体は、切削材料の側面に沿って軽く材料に押し付けるようにしながら一定の速度で動かしてください。



● トリマーガイド(別売品)を使用して切削する

面取り加工やトリミング加工などが正確に行えます。



使
い
方

1. ガイド固定ネジ(4)を緩めます。

 ガイド固定ネジ(4)が取り付けられていないときは、取り付けてください。

2. トリマーガイドをガイド固定ネジ(4)の下から差し込みます。

3. 任意の高さにローラーを合わせ、ガイド固定ネジ(4)を締めます。

 使用しているルータービット(7)や切削する材料の厚さに応じてローラーの高さを調節してください。

4. トリマーガイド位置固定ネジを緩めます。

5. ルータービット(7)が切削位置にくるように、トリマーガイド位置調節ネジを回してローラーの位置を調節します。

🔧 ローラーの位置を調整することで面取り量を調節できます。

トリマーガイド位置調節ネジを反時計方向に回す
:ローラーが前方に移動する(面取り量が少なくなる)

トリマーガイド位置調節ネジを時計方向に回す
:ローラーが後方に移動する(面取り量が多くなる)

6. トリマーガイド位置固定ネジを締めます。

7. 「切削する」の手順(34～37ページ参照)に従って切削作業を行います。
電動工具本体は、切削材料の側面に沿って軽く材料に押し付けるようにしながら一定の速度で動かしてください。

● 角材などを使用して切削する

角材などを使用して平行切削を行う場合は、切削材料と角材などを固定具(クランプなど)で確実に固定してください。

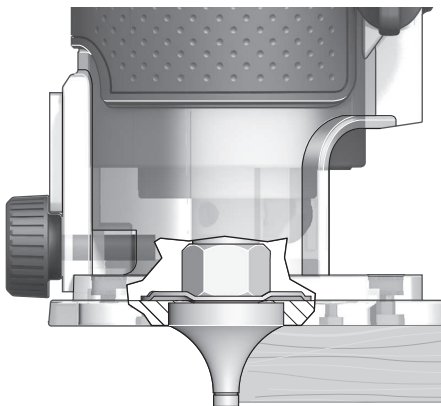
切削作業は、ガイドプレート(11)を角材などに押し当てながら、電動工具本体を一定の速度で動かしてください。

(動かす方向については、37ページ「作業のヒント」を参照してください)

● コロ付きルータービット(市販品)を使用して切削する

ストレートガイドやトリマーガイドを使用せずに面取り切削が行えます。

切削作業は、電動工具本体を垂直に保ち、ルータービット(7)のコロを材料の側面に沿って軽く材料に押し付けるようにしながら電動工具本体を一定の速度で動かしてください。(動かす方向については、37ページ「作業のヒント」を参照してください)



吸じんシステム(別売品)と接続する

ボッシュマルチクリーナー(別売品)・マルチ集じん機(別売品)と接続することで、吸じんしながら作業ができます。

各種ボッシュマルチクリーナー(別売品)・マルチ集じん機(別売品)と接続する場合は、『ボッシュ電動工具 プロ用製品カタログ』の「クリーナー・ライト・その他」の「吸じんシステム」のページを参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。

ボッシュマルチクリーナー(別売品)・マルチ集じん機(別売品)には、当機種との接続に適合するものと、適合しないものがあります。

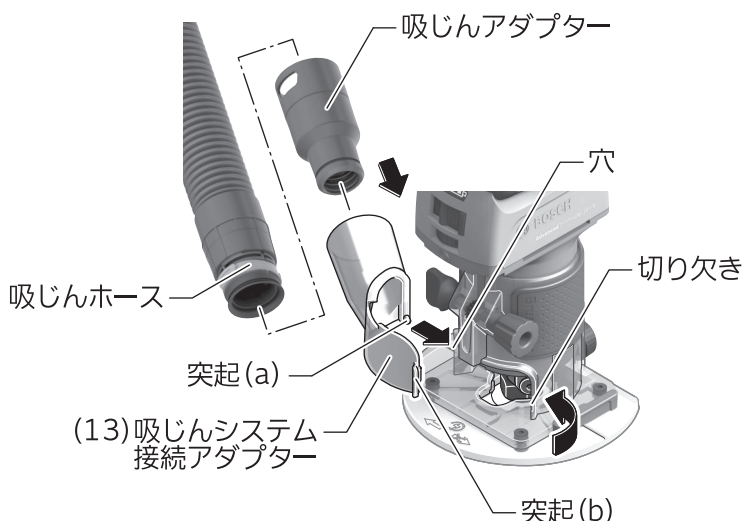
また、アダプター(別売品)などが必要な場合があります。

(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています)



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、吸じんシステムと接続するときは、必ず電動工具本体からバッテリー(18)を取り外してください。
- ◆ 乾燥した粉じんや、健康に有害または発がん性のある粉じんを吸引する場合は、専用の集じん機を使用してください。



取り付け

1. ベースプレート(12)の穴に、吸じんシステム接続アダプター(13)の突起(a)を差し込みます。
2. ベースプレート(12)の切り欠きに、吸じんシステム接続アダプター(13)の突起(b)を引っかけて固定します。
“カチツ”と音がして、確実に取り付けられたことを確認してください。
3. 吸じんシステム接続アダプター(13)に吸じんアダプターを接続します。
4. 吸じんアダプターに吸じんホースを接続します。
5. 吸じんホースとボッシュマルチクリーナー・マルチ集じん機を接続します。

取り外し

1. 吸じんホースをボッシュマルチクリーナー・マルチ集じん機から取り外します。
2. 吸じんアダプターから吸じんホースを取り外します。
3. 吸じんアダプターを吸じんシステム接続アダプター(13)から取り外します。
4. ベースプレート(12)から吸じんシステム接続アダプター(13)を取り外します。

バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間(6か月以上) 使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は使用を中止し、充電してください。

リサイクルのために

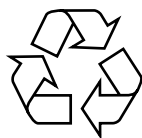
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

つ
い
て
バ
ッ
テ
リ
ー
に

本製品は、リチウムイオンバッテリーを内蔵しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みの電動工具本体を廃棄するときは、本体を分解せず、電動工具本体ごとボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちください。

お手入れと保管



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー(18)を電動工具本体から取り外し、お手入れしてください。

クリーニング

● 通風口などに付いたホコリを取り除く

☞ 電動工具本体にホコリがたまると故障の原因になります。

● バッテリー取り外しボタン(19)やバッテリー差し込み部に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

● 乾いた、柔らかい布で電動工具本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

保 管

● 使った後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、50℃以上になるところに置かない。
- バッテリーは、-20℃～+50℃の範囲で保管する。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼る。

電動工具(本体)の廃棄について

バッテリー以外の電動工具本体および付属品(充電器など)の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ(16)」を“入”にしても、作動しない	バッテリー(18)が消耗している	バッテリー(18)を充電するか交換する
	本機の温度が作業可能温度範囲外になっている	作業可能温度範囲内になるまで待つ
切削に時間がかかる(切削できない)	ルータービット(7)が摩耗している	ルータービット(7)交換する
	バッテリー(18)が消耗している	バッテリー(18)を充電するか交換する
充電してもフル充電しないまたはフル充電しても使用時間が短い	バッテリー(18)の寿命が尽きた	バッテリー(18)を交換する

- ◆『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407